

■二宮尊徳(金次郎) 没落実家を自力再興後、農村を企業的にみる"報徳仕法"で諸藩の農村復興。幕臣にまで出世も、制約に悩む。
にのみやそんとく
寛政改革始・1787＝ 小田原藩領相模国足柄下郡栢山村で、_富裕な農家利右衛門・好の長男に生まれたが、

混浴禁止・・1791＝ 4歳：_洪水によって、生家が没落、
松平定信引退1793＝ 6歳：

プロトN来航・1796＝ 9歳：

伊能測量始・1800＝13歳：_父について、
一九膝栗毛始1802＝15歳：_母も死去して一家離散。弟友吉・富次郎を母の実家に託し、親類万兵衛方に寄食。
身長180cm、体重90kgという大男に育ち、「論語」「大学」「中庸」などを独自に学んで、
_わずかな資金を工夫して増やす財政の天才ぶりも発揮させて、生家の再建に努め、
青洲麻酔手術1805＝18歳：この年つけ始めた出納帳に、早くも、貸金と利息の記載があり、米相場変動も利用している。
バザン報復・1806＝19歳：_かつて父が手放した土地を請け戻すことに成功、感激し、同様に苦しむ他者を救うことを志し、

浮世風呂・・1809＝22歳：_家の再興を実現すると、田畑を貸し出して、基礎収入を得るとともに、
・・・・・1810＝23歳：江戸へ行く。伊勢・京都・奈良・吉野・大坂・琴平をめぐる。_小田原城下に働きに出、
高田屋拿捕・1812＝25歳：_小田原藩の家老服部十郎兵衛の中間となり、
黒住教・・1814＝27歳：*借金に悩む服部家の再建を依頼されて、
・・・・・1815＝28歳：_実家に戻って、「服部家御家政取直仕法帳」を起草。

杉田玄白没・1817＝30歳：きのと結婚。
水野忠成老中1818＝31歳：*再建を成し遂げ、老中となった大久保忠真から、酒匂川河原で、表彰される。
群書類従完結1819＝32歳：長男誕生後すぐ死去。妻きのを離別。
・・・・・1820＝33歳：波と再婚。_藩政改革を進める藩からの領民への呼びかけに応じ献策、一族・村を超えた活動を開始、
伊能図完成・1821＝34歳：嫡男弥太郎誕生。_藩の分家宇津家の領地下野国芳賀郡桜町の荒廃復旧の命を受け、現地調査、
英船浦賀来航1822＝35歳：藩から、復興について一任される約束を得て、
ジゴル来日・1823＝36歳：*家・田畑・道具を売り、一家で赴任し、百姓身分のまま、復興仕法を行う。
荒廃きった村で、個々の農民とコミュニケーションをとり、表彰など、様々な方法で鼓舞、
役人の妨害に、辞表を願うも、村民の求めて続け、
・・・・・1826＝39歳：陣屋詰め藩士が江戸に異動したため、御組徒格として、_十分に取り立てられるが、その後の各地での報徳仕法に、いちいち藩の許可が必要になるなどの制約も生じる。

富嶽三十六景1831＝44歳：_宇津家桜町領第1期仕法が終了し、一応の成功を見、諸藩からも復興依頼が殺到するようになる。
鼠小僧磔・・1832＝45歳：
天保大飢饉始1833＝46歳：_「三才報徳金毛録」を著わす。
以降、これらの経験をもとに独特の農法、農村改良策(報徳仕法＝報徳社を設立して行う)により、烏山、
下館、相馬藩など、およそ600村の復興に関与、
大塩平八郎乱1837＝50歳：_天保の大飢饉となって、小田原に戻ることを命じられ、領民の救済に努めるも、
蛮社の獄・・1839＝52歳：富田高慶が入門する。
_藩主が死去して、後ろ盾を失い、いよいよ役人の抵抗に苦しむようになるなか、
天保改革始・1841＝54歳：
天保改革弾圧1842＝55歳：*天保の改革に取り組む幕府老中水野忠邦から、直々に、下総救済に関わるよう求められ、御普請役格に登用され、下級ながら幕臣になるが、仕事は、印旛沼から江戸湾への水路掘削工事で、20年の計画を立てるも不採用、その後の立案も全て無視され、辞職を願ううち、
天保改革終・1844＝57歳：_水野の失脚で、幕領での活躍の機会を失ったばかりか、幕臣になったため、私領関与が制約されるなか、
阿部正弘首座1845＝58歳：
・・・・・1847＝60歳：おそらく、下野国真岡領での仕法で培われた縁で、_勘定所附御料所を預かる山内総左衛門の手附として、野洲幕領の開発事業に従事。正式の代官で無く、自己裁量による仕法の実施の問題化を怖れる山内から、他領の報徳仕法への関与を牽制されるも、門弟らの尽力で、幕領での正式実施が認められ、山内も代官に昇格することになったが、自由な活動ができなくなったことから、度々、隠居を申し出るようになる。
国定忠治磔・1850＝63歳：
尊徳報徳論・1851＝64歳：富田高慶が「報徳論」を山内董正に差し出す。
ペリー来航・1853＝66歳：_勘定奉行から、全国のモデルとなる復興策となるよう、念願の日光神領89ヶ村の仕法実施の命を受け、今市に報徳役所を設置して、日光奉行手附に転任、
安政大地震・1855＝68歳：_計画をまとめて提出するも、先延ばしになるなか、180年後の財政状況までも見通した「日光御神領仕法雛形」全84冊を書き上げ、
松下村塾・・1856＝69歳：*病が進行、御普請役に昇進するも、自らは望まなかった登用に縛られ、業半ばに死去した。

中公シリーズ「日本の名著」、日本人物誌叢書「日本農学者評伝」、「人づくり風土記(神奈川)」,「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、日本の古典名著。深谷克己・須田努(編)「近世人の事典」とNHK「英雄の選択」で修正追補、